

日本の夏に「高除湿」という新提案
 業界最高^{※1}の除湿力で家まるごとサラッと快適に
 「SMART-ECS SARAWEL (スマート イクス サラウエル)」新発売

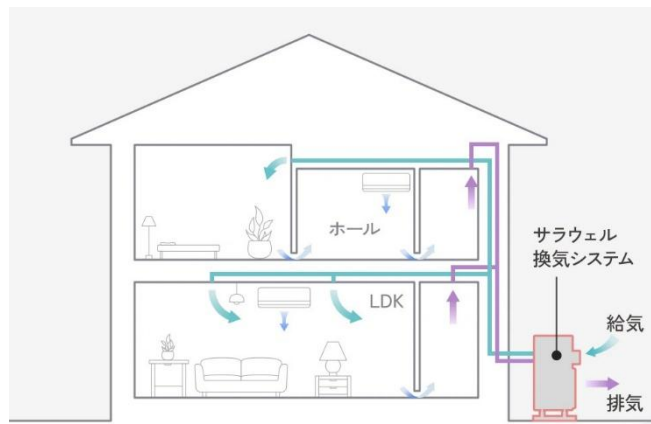
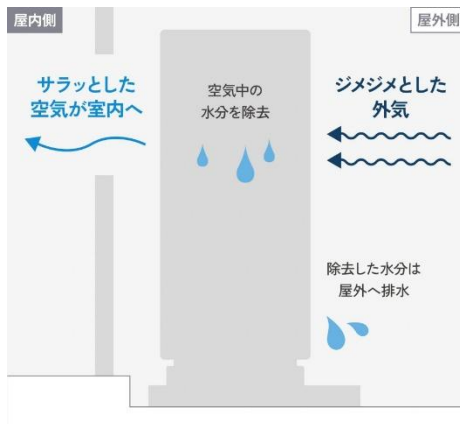
積水ハウス株式会社（以下、積水ハウス）とパナソニック HVAC & CC 株式会社（以下、パナソニック）は、外気に含まれる湿気を室内に取り込む前に抑え、住まい全体のムシムシ感やベタつきを軽減する、業界最高^{※1}の除湿力を備えた除湿熱交換型換気システム「SMART-ECS SARAWEL (スマート イクス サラウエル)」を共同開発し、2026年8月3日より発売します。

SMART-ECS
SARAWEL
 スマートイクス サラウエル



「スマート イクス サラウエル」は、夏季に湿度の高い外気から水分を取り除き、温度と湿度を調整して室内に取り込むことで、快適な住環境を実現する最先端室内環境システムです。日本の夏で進む高湿度化という課題に対し、定格除湿能力 3.1kg/h 相当の業界最高^{※1}の除湿力で外から住まいに入る湿気をあらかじめ抑えます。積水ハウスの住宅設計・住環境に関する知見と、パナソニックの空質・空調技術を組み合わせることで、湿度を抑えた空気をリビングや寝室だけでなく、廊下や洗面室など、エアコンを設置していない非居室にも届けることができます。

本システムにより、夏や梅雨時期のムシムシ感や肌のベタつきを軽減し、住まい全体でサラッと心地よい空間づくりをサポートします。さらに、部屋干しの洗濯物が乾きやすい環境づくりや、湿気がこもりにくいことによるカビ・ダニ対策にも配慮。室温を必要以上に下げずに湿度をコントロールすることで、エアコンの冷風や冷えすぎが苦手な方にも、快適な体感環境を提案します。

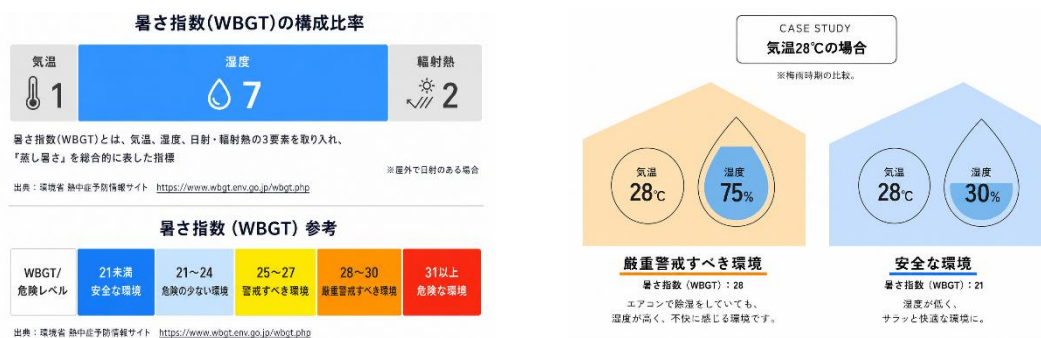


湿気を「家に入れる前」に抑え、住まい全体へサラッとした空気を届ける

■住宅内でも高まる暑さリスクに、「湿度コントロール」という新しい備えを

近年、猛暑日や熱帯夜の増加により、住宅内の暑さ対策は一層重要になっています。熱中症は屋外だけでなく住宅内でも発生しており、環境省「熱中症環境保健マニュアル」^{※2}では、家庭内での発生が増加し、高齢者では住宅での発生が半数を超えることが示されています。また、総務省「令和7年（5月～9月）の熱中症による救急搬送状況」^{※3}によると、発生場所別救急搬送人数の割合で住居（約38%）が最も多く、日常生活を過ごす住宅内における環境改善が、熱中症予防の観点からも重要な課題となっています。

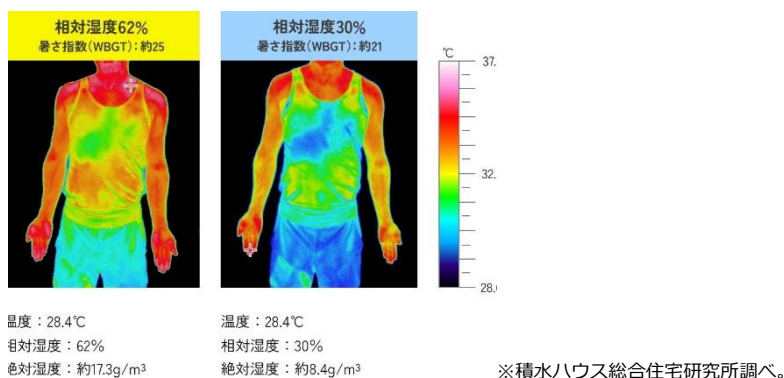
熱中症予防の指標として使われる暑さ指数（WBGT）は、気温だけでなく湿度、日射や地面・建物からの熱の影響を取り入れて算出されます。同じ気温でも湿度が高いほど暑さ指数は上がり、身体への負担も大きくなります。室内熱中症への備えという観点からも、夏の住まいでは室温だけでなく、湿度にも目を向けた環境づくりが重要です。



同じ気温でも、湿度の違いにより暑さ指数が変化する

■夏の不快感を左右するのは、温度だけでなく「湿度」

夏の住まいでは、冷房を使用していてもムシムシ感や肌のベタつきを感じることがあります。その大きな要因が、室内にこもる湿度です。暑さ対策では室温を下げるだけでなく、湿度を適切に管理することが重要です。積水ハウス総合住宅研究所 温熱生理実験室で実施した検証^{※4}では、室温が同じでも、湿度が低い環境の方が皮膚表面から熱が逃げやすいことが確認できました。湿度を適切にコントロールすることは、冷やしすぎに頼らない、心地よい体感環境づくりにつながります。



同じ室温でも、湿度が低い環境では皮膚表面からの放熱が促進されることを確認

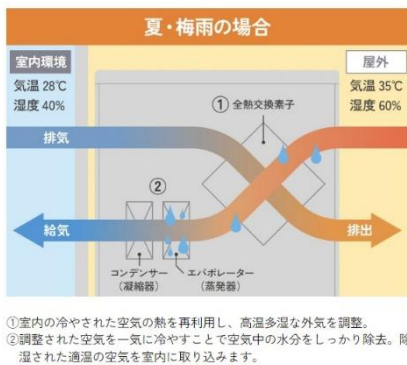
また、日本の夏の外気に含まれる水分量は増加傾向にあります。積水ハウスの分析^{※5}では、東京における8月の外気中の水分量は、2001～2004年平均と比べて、2021～2024年平均で約26%増加しています。今後も気候変動の影響などにより、将来的に外気中の水分量がさらに増加する可能性があり、夏の住まいでは暑さだけでなく「湿気」への備えも一層重要になると考えられます。こうした変化を見据え、これからの住まいには、外から入る湿気を抑えながら快適性を保つ住環境づくりが求められます。

【商品特長】

1. 業界最高※¹の除湿力：湿気を住まいに入れる前に抑え、住まい全体をサラッと快適に

「スマート イクス サラウエル」は、定格除湿能力 3.1kg/h 相当を備えた除湿熱交換型換気システムです。湿度の高い外気を室内へ取り込む前に除湿することで、冷房だけでは抑えにくいムシムシ感やベタつきを軽減し、夏季や梅雨時期でも住まい全体を心地よい空間へ整えます。

一般的なエアコンの除湿が「室内の湿気を取る」のに対し、「スマート イクス サラウエル」は「湿気を家に入れる前に抑える」発想です。屋外に設置した本体で外気中の水分を取り除き、温度を調整してから室内へ送り出すため、冷やしすぎに頼らず、サラッとした心地よさを住まい全体に届けます。

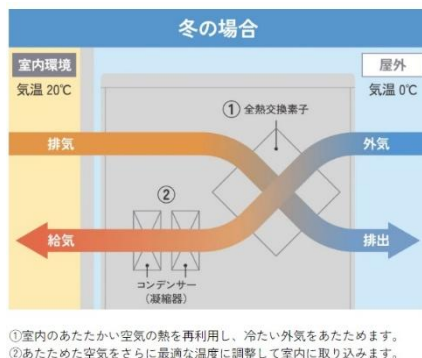


2. 空気環境制御：季節に応じて、除湿・熱交換換気・空気清浄を組み合わせ、住まい全体の空気を整える

「スマート イクス サラウエル」は、外気を処理して取り込む除湿熱交換型換気システムに、ビルトイン空気清浄機「Air Me (エア ミー)」などを組み合わせ、住まい全体の空気環境を整えます。湿気を抑えることに加え、室内から排出する冷えた空気の熱を活用し、外から取り込む暑い空気の温度上昇をやわらげます。除湿した外気を冷媒熱交換により心地よい状態に整えることで、換気しながら室温への影響を抑えます。

冬季は、熱交換換気により、室内の暖かい空気を利用して、外から取り込む冷たい空気を室温に近づけます。加えて、ベース空調として緩やかに温めた空気を換気しながら供給し、年間を通じて外気の影響を抑えた住環境づくりをサポートします。

また、外から取り込む空気は、除湿熱交換型換気システムに付属するサイクロン給気フードと高性能フィルターで汚れを取り除いてから室内へ送り出します。室内では「Air Me」により、空気中の汚れをすばやく除去します。除湿、熱交換換気、空気清浄を組み合わせることで、心地よさと空気のきれいさを両立します。



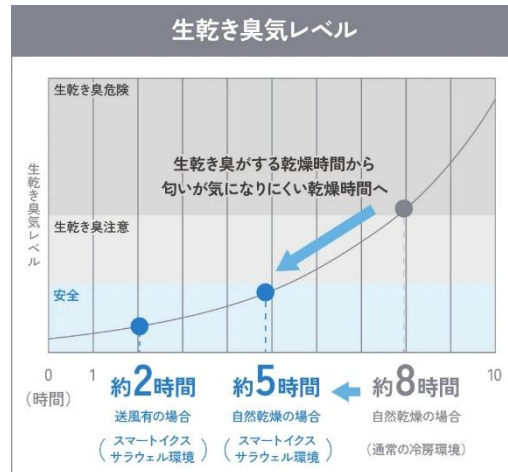
※静電HEPAフィルター（JIS Z 8122：2000による規定。定格流量で粒径が0.3μmの粒子に対して99.9%以上の粒子捕集率をもち、かつ初期圧力損失が245Pa以下の性能をもつエアフィルター。）

3. 部屋干し・家事負担軽減：湿気を抑え、梅雨時期や夏場の洗濯ストレスを軽減

湿度を抑えた空気を住まい全体にめぐらせることで、部屋干しの洗濯物が乾きやすい環境をつくり、梅雨時期や夏場の洗濯ストレス軽減にもつながります。外干ししにくい雨の日や、花粉・黄砂が気になる時期でも、室内で洗濯物を干しやすい環境づくりをサポートします。

洗濯物6.0kg(4人分想定)の乾燥時間		
条件	通常の冷房環境 28℃/60%	スマートイクス サラウエル環境 28℃/32%
自然乾燥の場合 風速：0.5m/s	乾燥時間 約8時間 (473分)	乾燥時間 約5時間 (296分)
送風有の場合 (扇風機等) 風速：3.0m/s	乾燥時間 約3.5時間 (203分)	乾燥時間 約2時間 (127分)

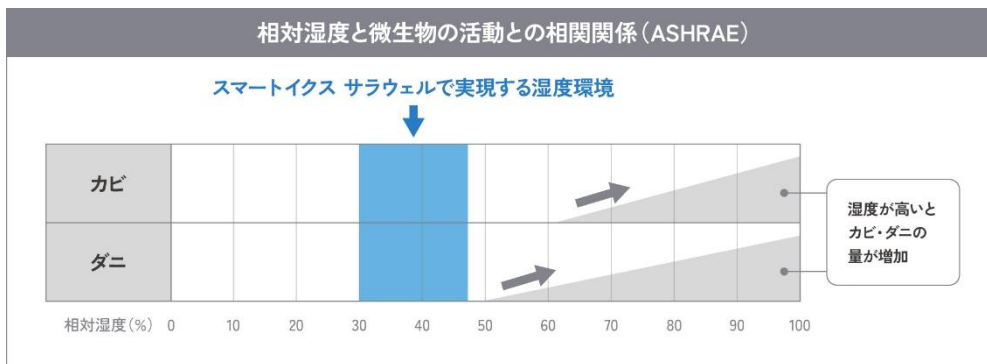
※積水ハウス総合住宅研究所調べ。



※生乾き臭気レベルは積水ハウス総合住宅研究所試算。

4. カビ・ダニ対策の手間軽減：湿気を抑えて、カビ・ダニ対策にも配慮

湿度が高い状態が続くと、結露やカビ・ダニの繁殖につながることがあります。「スマートイクスサラウエル」は、住まいに入る空気から湿気を抑え、湿度がこもりにくい環境をつくることで、カビやダニが繁殖しにくい環境づくりに配慮します。クローゼットや壁、水回り、エアコン内部など、湿度が気になりやすい場所の対策にもつながります。



※人工気象室内に建築した延床 113.86 m²の2階建て住宅における冷房期過酷日条件下で、サラウエル換気システム稼働時に1階LDKの相対湿度が常時50%を下回る研究結果及び、相対湿度50%以下の環境でマダニ・真菌の増殖が抑制されるとの学術論文「Arundel, A.V. et al., "Indirect Health Effects of Relative Humidity in Indoor Environments", Environmental Health Perspectives, Vol.65, pp.351-361(1986)」に基づきます。 ※ダニ・カビ防止は繁殖抑制を指すものであり駆除するものではなく、すべてのカビ・ダニに効果があるわけではありません。 ※設置環境、使用状況により効果は異なります。

【商品概要】

商品名	SMART-ECS SARAWEL (スマート イクス サラウエル)
発売日	2026 年 8 月 3 日
販売地域	省エネルギー地域区分 4～7 地域
商品 URL	https://www.sekisuihouse.co.jp/kodate/tech/catalog/dehumidification-ventilation

- ※1 「業界最高の除湿力」: 定格除湿能力 3.1kg/h (JIS B 8638:2020 の除湿冷房条件〔冷房標準: 室内側 27℃DB・19℃WB、室外側 33℃DB・28℃WB〕による値)。国内戸建住宅向けの調湿外気処理機 (風量 200m³/h 以下の商品) のうち、JIS B 8638:2020 又は同等条件で評価された製品との比較 (各社公表資料) において業界最高。積水ハウス、パナソニック HVAC & CC 調べ (2026 年 6 月時点)。
- ※2 出典: 環境省熱中症予防情報サイト (https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/manual/heatillness_manual_1-3.pdf)
- ※3 出典: 「令和 7 年 (5 月～9 月) の熱中症による救急搬送状況」(総務省) (https://www.soumu.go.jp/main_content/001037757.pdf)
- ※4 2026 年 5 月 22 日に積水ハウス総合住宅研究所 温熱生理実験室で実施
- ※5 東京地点の 8 月平均値について、2001～2004 年平均と 2021～2024 年平均を比較し、外気中の水分量を積水ハウスが算出。算出には、2001～2024 年の東京地点における気象データを参照

※本ニュースリリースに記載の「業界最高」は、発表時点である 2026 年 6 月時点の各社公表資料に基づくものです。現在の状況とは異なる場合があります。最新情報は商品ページをご確認ください。